

みやまえ Miyamae

滑川町立宮前小学校 学校だより

9月号 令和2年 8月24日

電話 0493-56-2204 FAX 0493-56-2065

あいさつがつなぐ心と心

行つて来ます」ついでいな
大内江利子

お母さんがでかけるのは
8時5分前

一番早く家を出る

わたしはお茶わんをあらいながら
「行ってらっしゃい。気をつけてね」
と、声をかける

つぎに、「ドタドタと

おねえちゃんが出ていく

わたしは、一番後

ランドセルをしょいながら

水道を止めたかな？

ガスの元栓、大じょうぶかな？

と見て回る

わたしを送ってくれるのは、

かぎをしめるカチャンという音だけ

時には、かぎをしめ忘れたかなと

途中からひき返すこともある

今日はお母さんがいる

行つて来ます」とわたしは言う

行つてらっしゃい」とお母さん

行つて来ますっていい気持ち

何だかとってもいい気持ち

紹介した大内江利子さんの詩は、岩波ジュニア新書、「ことばの力」(川崎 洋)に載っていたものです。作者の大内江利子さんは、小学校4年生です。お母さんは、働いていらっしゃるのでしょう。お姉さんは、中学生で、学校が小学校より遠いから江利子さんより早く家を出るのかもしれませんが。「今日はお母さんがいる」という一行に江利子さんの気持ちが込められています。「行つて来ます」「行ってらっしゃい」というあいさつのことばが江利子さんとお母さんをしっかりと結びつけていますね。

「行つて来ますっていい気持ち」・・・あいさつは、人と人、心と心をつなぐものなのですね。

新型コロナウイルス感染症・・・「正しく恐れる」

「ものをこわがらな過ぎたり、こわがり過ぎたりするのはやさしいが、正當にこわがることはなかなかむづかしい」(寺田寅彦)

8月20日(木)の毎日新聞夕刊に、国立病院機構仙台医療センターの西村秀一(ひでかず)医師のお話が掲載されていました。「米国で新型コロナに感染した美容師2人がマスクをして139人の髪を切ったが、客から感染者は確認されなかった。この事例から分かるのはマスクの重要性とともに接触感染はそう簡単には起きないということ。スーパーで買った商品の袋を怖がって消毒する人もいるようですが、そこまでする必要はないと私は考えます」西村医師は、物理学者寺田寅彦の言葉を紹介し、「正しく恐れることが重要だ」と述べています。

寺田寅彦は、「天災は忘れたころにやってくる」という言葉も遺しています。みなさんは、学校再開後、3密回避や空気の入替え、手洗い、うがい、咳エチケットなどの感染症対策にしっかり取り組んできましたね。新型コロナを正しく恐れ、2学期も楽しい学校生活を送りましょう。

感染拡大防止に御協力をお願いします。

全国の園児児童生徒の感染状況を見ると、この年代の罹患率は他の年代に比べ低くなっており、感染経路は「学校内感染」は低く、「家庭内感染」が半数以上であると報告されております。また、感染経路が不明な感染者の増加が見られることから、児童本人に風邪の症状等がある場合のみならず同居家族の発熱等の風邪症状がある場合にも、登校しないことを徹底するよう御理解と御協力をお願いいたします。さらに、引き続き、感染拡大防止の取組の徹底もお願いいたします

「お迎え」・・・御協力をお願いします。

1学期末の夏季休業を短縮しての授業実施期間に下校時のお迎えをお願いしました。保護者の皆様にはお忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。熱中症防止のため、2学期当初(8月31日まで)の下校時のお迎えについてもどうぞよろしくをお願いいたします。

児童・保護者の活動、地域の皆様の活動

環境整備・・・保護者・地域の皆様に感謝

スクールガードリーダーの中元様には、毎日のパトロールの他にも、学校環境の整備などでも大変お世話になっています。

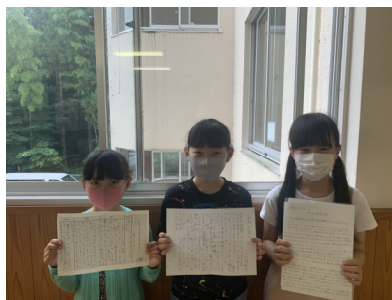
各地域の方々が、2学期の始業を前に、除草作業等、通学路の整備を実施してくださいました。写真は、水房地区の皆様の作業の様子です。

8月4日(火)、8月17日(月)、PTA新旧本部役員の皆様が校地の除草を行ってくださいました。両日も、熱中症の心配もある猛暑の中の作業でした。9月5日(土)にもPTA奉仕作業が予定されています。

皆様のお陰様で、2学期が気持ちよくスタートできました。本当にありがとうございます。



1年生 交通安全教室



1学期終業式 意見発表